

## 採点基準 世界史

- ※ 以下の加点ポイントは目安です(加点ポイントは< >でくくり、得点として+2,または+1を付けている)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。
- ※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう！

### I ペストがヨーロッパに与えた影響 (配点 50点)

- ※ 6行目に入っている答案を採点対象とする。
- ※ 16行目に入っていない答案は、加点ポイントを満たしていても満点にしない。(以上同)

問1 2点×3=6点 ※「問」はなくても可。Ⅲも同。ただし、「1」を書いていなければ1点減点。

黒死病 可

『十日物語』 許容

ジョヴァンニ=ボッカチオ 可

### 問2 44点満点

#### <1 ペストによるヨーロッパ社会の変化>

- ① ペスト(黒死病)が流行して人口(農民)が激減したこと…2点
- ② 領主は労働力を確保する必要に迫られたこと…2点
- ③ 領主は荘園を支配していたこと…2点
- ④ 領主は農奴の待遇の改善を迫られたこと…2点
- ⑤ 賦役が軽減されたこと…2点
- ⑥ 領主裁判権の束縛が軽減されたこと…2点
- ⑦ ⑤⑥以外の封建的束縛が軽減されたことが明記されていること…2点

※「死亡税・結婚税の撤廃」「貢納の軽減」「雇用機会の改善」など

- ⑧ 貨幣経済が浸透したこと…2点
- ⑨ 地代荘園が増えたこと…2点
- ⑩ 農奴解放が進んだこと…2点
- ⑪ (独立)自営農民となったこと…2点
- ⑫ ⑪は特にイギリス(イングランド)で見られたこと…2点
- ⑬ ⑫をヨーマンということ…2点
- ⑭ 領主が再び農奴への束縛を強化しようとしたこと…2点
- ⑮ ⑭が封建反動であること…2点
- ⑯ 農民反乱(一揆)が起こったこと…2点
- ⑰ ジャックリーの乱が起こったこと…2点
- ⑱ ワット=タイラーの乱が起こったこと…2点
- ⑲ 領主の没落が進んだこと…2点
- ⑳ 没落した領主は国王の廷臣となったこと…2点

## <2 ペストが人々の死生観に与えた影響>

- ① ペスト（黒死病）は原因不明であったこと…2点
  - ② ペストは身分を問わずに広まったこと…2点
  - ③ 人々は様々な想像を抱くようになったこと…2点
  - ④ ペストの流行は神の懲罰によるものと捉えられたこと…2点
  - ⑤ 人々は現世をよりよく生きなければならないと考えるようになったこと…2点
  - ⑥ ペストの流行は個人の生き方を考える契機となったこと…2点
  - ⑦ ペストの流行はルネサンスを導く要因となったこと…2点
  - ⑧ 社会不安が増大したこと…2点
  - ⑨ 社会的少数者に大した不寛容になったこと…2点
  - ⑩ ユダヤ人に対する迫害が行われたこと…2点
  - ⑪ 死が日常的になったこと…2点
  - ⑫ 死後の救済を祈ったこと…2点
  - ⑬ 「死の舞踏」が描かれたこと…2点
  - ⑭ 「死の勝利」が描かれたこと…2点
- ※⑬⑭の代わりに、「骸骨や人々の死への過程を描く主題が増えた」なども可
- ⑮ 托鉢僧が「死を想え」と説いたこと…2点

<3 論理構成点> (=上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けている。解答欄の右上欄外に、+1または+2を付けている。加点されない場合は数字なし。以下同)

- ① <1><2>がバランスよく書けていること…2点
- ② ルネサンスを導く要因となったこと (<2>の⑦) が記されていること…2点

## II イタリアとドイツのファシズムの拡大 (配点 50点)

### <1 イタリア>

- ① 第一次世界大戦で戦勝国であったこと…2点
- ② フィウメの領有が認められなかったこと…2点
- ③ 講和条約に不満を抱いたこと…2点
- ④ 不況が深刻化したこと…2点
- ⑤ ストライキ（工場占拠）が頻発したこと…2点
- ⑥ ⑤が北イタリアで頻発したこと…2点
- ⑦ 社会主義勢力が台頭したこと…2点
- ⑧ ファシスト党が結成されたこと…2点
- ⑨ ⑧はムッソリーニが行ったこと…2点
- ⑩ ⑧または⑨が保守派の支持を集めたこと…2点
- ⑪ 保守派の具体例：地主・軍人・資本家など…いくつ書いても2点
- ⑫ ⑧または⑨が中間層の支持を集めたこと…2点
- ⑬ 保守派や中間層が左派勢力の台頭を警戒したこと…2点
- ⑭ 全体主義を主張したこと…2点
- ⑮ ⑧または⑨がローマ進軍を強行したこと…2点
- ⑯ ⑧または⑨が政権を握ったこと…2点

⑰ ⑮は1922年であったこと…2点

※「政権を握ったか」という設問なので、1922年以降は加点しない。

## <2 ドイツ>

① 第一次世界大戦で敗戦国であったこと…2点

② ヴェルサイユ条約が結ばれたこと…2点

③ ②は過酷な内容（領土の割譲・軍備制限・ラインラントの非武装化など）であったこと…2点

④ 賠償金の支払いに苦しんだこと…2点

⑤ ルール占領が行われたこと…2点

⑥ ⑤はフランス・ベルギーが行ったこと…2点

⑦ ④で経済が混乱したこと…2点

⑧ ナチ党（ナチス）が結成されたこと…2点

⑨ ヒトラーがナチ党に加入したこと…2点

⑩ ヒトラーがミュンヘン一揆を行ったこと…2点

⑪ 経済不安はレンテンマルク発行で收拾したこと…2点

⑫ 経済不安はドーズ案成立で收拾したこと…2点

⑬ 世界恐慌後、経済危機が極度に悪化したこと…2点

⑭ 短命な内閣が続いたこと…2点

⑮ ナチ党と共産党が躍進したこと…2点

⑯ ヒトラー（ナチ党）が保守派の支持を集めたこと…2点

⑰ ⑮の具体例：産業界・地主・資本家・軍部…いくつ書いても2点

⑱ ヒトラー・ナチ党が中間層の支持を集めたこと…2点

⑲ 保守派や中間層が左派勢力の台頭を警戒したこと…2点

⑳ ヒトラーが内閣を組織したこと…2点

㉑ ㉑はヒンデンブルク大統領の命であったこと…2点

㉒ 政権を握ったのが1933年であったこと…2点

※1933年以降は加点しない。

## <3 論理構成点>

① <1><2>がバランスよく書けていること…2点

② <1><2>ともに、社会不安⇒ファシズム勢力の拡大⇒ムッソリーニ・ヒトラーの政権誕生の流れが記されていること…2点

## Ⅲ 孫文と三民主義（配点 50点）

### 問1 2点×4=8点

孫中山 可

①②③がない場合は、それぞれ1点のみ 「民族。民権。民生。」の順でなければ加点しない

### 問2 42点満点

#### <1 20世紀初頭の中国と孫文の考え>

① 孫文は欧米諸国の進化は①～③に基づいていると考えたこと…2点

② 中国は清朝の時代であったこと…2点

- ③ ②は満州人（女真人）が支配していたこと…2点
- ④ 欧米諸国における①：民族ごとの国家が独立したと考えたこと…2点
- ⑤ ④はローマ帝国滅亡後に欧州各地で起こったこと…2点
- ⑥ 中国と①：漢人の国家を独立させるべきだと考えたこと…2点
- ⑦ ⑥のために異民族の清朝を打倒するべきと考えたこと…2点
- ⑧ 欧米諸国における②：専制政治が倒れたこと…2点
- ⑨ ⑧の後に、立憲政体が増えたこと…2点
- ⑩ ⑨になると、飛躍的に人智や物質が進展したと考えたこと…2点
- ⑪ 中国と②：専制政治の害毒を解消すべきだと考えたこと…2点
- ⑫ ⑪の後に、主権在民の共和国を建設するべきだと考えたこと…2点
- ⑬ 孫文は20世紀は民生（民生主義）が重要になると考えたこと…2点
- ⑭ 欧米諸国における③：資本主義が発達した欧米諸国は貧富の格差などが起こったこと…2点
- ⑮ ⑭のため、様々な社会問題に苦しんでいると考えたこと…2点
- ⑯ 中国と③：民生に関する病弊を深めてはならないと考えたこと…2点

## <2 1920年代前半の孫文と三民主義>

- ① 孫文は中国国民党を率いていたこと…2点
- ② 中国共産党が結成されたこと…2点
- ③ ソ連の協力を受けたこと…2点
- ④ 中国共産党と連携したこと…2点
- ⑤ ④は第1次国共合作の実現であること…2点
- ⑥ ⑤は国民党に共産党員が個人で入党できるようになったこと…2点
- ⑦ 連ソ・容共・扶助工農を掲げたこと…2点
- ⑧ ⑦は新三民主義と呼ばれたこと…2点

## <3. 論理構成点>

- ① <1>で、①②③がそれぞれ欧米諸国と中国について触れていること…2点
- ② <2>で、共産党との連携（④または⑤）と新三民主義（⑦または⑧）について述べていること…2点

以上